

「フュージョン発電所のつくりかた：未来をデザインする 3 日間 [feat. J-Fusion]」開催のお知らせ

— フュージョン発電所の未来を構想する若手社会人・学生向け集中プログラム —

慶應義塾大学 KMD 研究所フュージョンインダストリー研究センター（所在地：横浜市港北区、センター長：武田秀太郎）は、2025 年度核融合科学研究所スクーリング・ネットワーキング事業(Fusion Science School)に採択されたことをお知らせ致します。新たに設置されたフュージョンインダストリー研究センターを中心として、2026 年 1 月 30 日(金)～2 月 1 日(日)の日程で核融合エネルギーの社会実装を多面的に学び、未来のエネルギー社会を学ぶ集中プログラムである「フュージョン発電所のつくりかた：未来をデザインする 3 日間[feat. J-Fusion]」を業界団体フュージョンエネルギー産業協議会（J-Fusion）との共催で開催します。

本プログラムは、フュージョンエネルギーに興味を有する若手社会人ならびに学生（大学院生、学部生、高専 4 年生以上）を対象として、以下の 3 つのポイントを軸に、学びと産業界との交流の機会を提供します。

- フュージョンを理解する — 核融合の全体像を体系的に捉える
- フュージョンを体験する — 研究・産業の現場を見る
- フュージョンを創造する — Fusion Hackathon

本プログラムは、核融合に関わる科学・工学・産業・政策・社会の視点を横断的に扱い、講義・現場体験・グループワークを通じて、核融合を“自分ごと”として考える力を育成する三日間の集中スクールです。研究者・技術者・学生・自治体関係者・一般市民など、多様な参加者が学びと対話を通して未来の社会像を構想することを目的としています。

実施概要

- 名称：フュージョン発電所のつくりかた：未来をデザインする 3 日間[feat. J-Fusion]
- 日程：2026 年 1 月 30 日（金）～2 月 1 日（日）
- 会場：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館および J-Fusion 会員企業様
- 主催：慶應義塾大学 KMD 研究所フュージョンインダストリー研究センター
- 共催：一般社団法人フュージョンエネルギー産業協議会（J-Fusion）

※本事業は 2025 年度核融合科学研究所スクーリング・ネットワーキング事業 Fusion Science School として採択されたものです。

お申し込み方法・詳細につきましては、以下のページをご確認ください
<https://firc.kmd.keio.ac.jp/fss/>

プログラム構成（3 日間）

1月 30 日

Day 1 | 理解する — 核融合の全体像を体系的に捉える

大学・研究機関・産業界の専門家による集中講義を通して、
核融合の原理、プラズマ制御、炉設計、産業動向、社会的意義を幅広く学びます。

講義① 「核融合炉を形にする一工学の挑戦」

東北大学 金属材料研究所 原子力材料工学研究部門 教授
笠田竜太 様

**講義② 「フュージョン産業の現在地 — プランケット・トリチウム・DEMO 設計から読み解く
日本の戦略」**

J-Fusion 会長、京都フュージョニアリング株式会社 代表取締役 CEO
小西哲之 様

講義③ 「核融合と社会 — 受容・合意形成・産業エコシステムのデザイン」

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 准教授
標葉隆馬 様

講義④ 「核融合とは何か — プラズマ物理と閉じ込め方式の基礎」

慶應義塾大学 理工学部 物理情報工学科 教授
星野一生 様

**講義⑤ 「核融合プラズマを“見る・測る・操る”技術 — 実験炉運転のリアルと計測工学の最前
線」**

九州大学 応用力学研究所 教授
花田和明 様

1月 31 日

Day 2 | 体験する — 研究・産業の現場を見る

午前：

J-Fusion 参画企業から取り組みのご共有

ネットワーキングランチ会

午後：J-Fusion 参画企業への訪問・見学
(大和合金、京都フュージョニアリング、他)

2月 1日

Day 3 | 創造する — Fusion Hackathon

核融合の社会実装をテーマに、混成チームで構想をまとめ、プレゼンテーションを行います。

午前：パネルディスカッション

スタートアップ各社が事業化の課題、地域・産業との連携、未来展望を語ります。

登壇スタートアップ企業：

- 京都フュージョニアリング株式会社 様
- 株式会社 MiRESSO 様
- LiSTie 株式会社 様

午後：Fusion Hackathon

- チームによるアイデア創出・構想化ワーク
- 5分プレゼン+10分 Q&A
- 審査基準：共感性／実現性／創造性／インパクト
- 最優秀チームには J-Fusion 修了証を授与

J-Fusion 事務局長

京都フュージョニアリング執行役員経営企画本部長

中原様からのコメント



フュージョンエネルギーは長らく“夢の技術”と呼ばれてきました。しかし今、その夢は単なる理想ではなく、新たな成長産業として現実の姿を見せ始めています。

一般社団法人フュージョンエネルギー産業協議会（J-Fusion）が産業界の団体として立ち上がり、さらに「フュージョンインダストリー研究センター」が設立されたことは、この分野が確かな産業として歩み始めた大きな証だと感じています。

今回、Fusion Science School が産業界との協調のもと開催されることを大変うれしく思います。

フュージョンエネルギーの魅力を感じていただくとともに、研究開発、スタートアップ、ものづくり産業、そしてサプライチェーン構築など、多様な可能性に触れていただければ幸いです。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

実行委員長 慶應義塾大学 KMD 研究所フュージョンインダストリー研究センター
長 武田秀太郎 准教授



Fusion Science School — フュージョン発電所のつくりかた：未来をデザインする三日間は、核融合エネルギーが単なる科学的・技術的な挑戦でなく、社会・産業・地域にもたらす価値と共に描き、創り上げていく実践の場です。本スクールでは、若手学生・社会人を対象に核融合の基礎から産業戦略、社会受容、合意形成、地域創生まで多角的な視点を統合したプログラムを展開します。

核融合は次世代のエネルギー社会を実現する鍵となる技術ですが、その社会的実装には技術開発だけでなく、人材育成と産学・産官連携が不可欠です。本プログラムが、次世代リーダーの育成と、産業界と学術界をつなぐネットワーク形成の契機となり、核融合エネルギーの未来社会への実装を加速する一助となることを期待しています。

皆様のご参加を楽しみにしています。

お問い合わせ

慶應義塾大学フュージョンインダストリー研究センター

住所 | 223-0061 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学協生館 6 階 C6S14
電話番号 | 045-564-2491
メールアドレス | firc@kmd.keio.ac.jp